

教科名	国語	科目	現代文（特進文系クラス・H組）	単位	4単位
-----	----	----	-----------------	----	-----

1. 教科書・テキスト・プリント

教科書：『精選現代文B』（東京書籍）〔高2から継続使用〕

副教材：『2023 共通テスト対策問題集 4 国語現代文』（河合出版）

『2023 共通テスト直前対策問題集 5 国語現代文』（河合出版）

『現代文解答力の開発講座』（駿台文庫）

『現代文読解問題 難関私大編』（駿台文庫）

〔以下、高1・2から継続使用〕『改訂版現代文キーワード読解』（Z会出版）

『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）

『大学入学共通テストへのアプローチ』（いいずな書店）

『プログレス現代文 標準編』（いいずな書店）

※他、プリント（補助プリント、私大・国公立大学入試過去問、センター試験・共通テスト過去問・類題、記述問題など）

2. 授業の目標および内容

難関大では以前より行われ、「共通テスト」になって基礎学力として求められるようになった「思考力」を測る入試に対応できる学力を養います。加えて「複数テキスト」の整理・比較・活用・評価が求められる共通テストの対策も並行して行います。

『共通テスト（直前）対策問題集』やセンター試験の過去問題により、まず「センター試験」型の単一文章の読解・解答法を習得し、すべての入試現代文読解の基礎を固めます。その後、複数テキストが出題される「共通テスト」の読解・解答法を習得し、演習を積み重ねていきます。

『現代文解答力の開発講座』では、過去の難関大学の入試問題で解答法を養成し、『現代文読解問題 難関私大編』で演習を重ね実践力を身に付けます。文章全体の構造を捉えて、文章全体が示す筆者の主張と論拠を捉えことで初めて対応できる現代文の難関入試まで見据えた読解・解答力の基盤を育成します。

目標は、早稲田大学や上智大学など私大で難解とされる入試に対応できる力を目標とし、その過程で他の難関私大現代文を安定して得点できる力を整えます。また、生徒の状況・希望により、国公立二次の記述・論述問題までを見据えた力の養成を視野に入れます。

3. 試験について

	1 学期		2 学期	
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月
学力試験	第 1 回 6 月		第 2 回 9 月	

内容・評価等について

- ① 定期試験：使用テキストの授業範囲内の教材だけでなく、初見の文章を応用として出題する予定です。目標に沿って、一学期は、センター試験（共通テスト）レベルと設問に対応できる基礎力を見る試験を、二学期は、共通テストと並行して難関私大の現代文の解答力を見る問題を出題する予定です。100点満点で試験を行います。
- ② 学力試験：古典分野を合わせて、学年統一で100点満点の問題を出題します。

4. 課題・補習について 課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。

5. 評価の視点 定期試験の成績と提出物・小テストなどを考慮して評価する予定です。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	『共通テスト対策問題集』・センター試験過去問題 『現代文解答力の開発講座』	センター試験型の問題を使用し基礎的読解力を身に付け、共通テスト型の問題で読解・解答力を培い、そこから、局所的な精読まで求められる私大入試に対応できる基礎力を固めます。目標は青山学院大学等、現代文で高い得点が求められる入試を目指します。 アクティブラーニングを取り入れ、難関私大を中心に、国公立二次記述問題にも対応できる対策も視野に行います。目標は早稲田・上智大学から他の難関私大の入試レベルです。国公立二次の記述問題も解答できることを目指します。	必要に応じて、『現代文キーワード読解』も使用します。 状況に応じて、中学までの語彙力や口語文法に触れ、基礎固めに資するアドバイスをを行います。 『TOP2500』の小テストを予定しています。
2	『共通テスト直前対策問題集』 『現代文読解問題 難関私大編』 他、過去問プリントなど	共通テスト型創作問題やその過去問題と難関私大の過去問を解いて、時間内に安定して高得点できる力の育成を目指します。受験に向け、時間を意識して問題集や過去問を解かせます。状況に応じて、	